



朱 振南「美日載歸」(59×74cm、額装、2005)

台湾北部の小さな漁村・富貴に生まれた朱振南氏が山田展のために制作した海の最新作。好天であれば波も静かで魚もたくさん取れ、夕日を浴びて家族の待つ村へ帰れる。一日の漁を終えて無事に港に入る喜びは漁師一番の幸せである。

山田町合併50周年記念事業 朱振南・南奎雲友好書画展

とき **4月8日(金)~10日(日)** **入場無料**

午前9時~午後5時 (10日は午後4時まで)

ところ **町中央公民館特設会場**

昭和30年3月に1町4村が合併し、新生山田町が誕生してから50周年を迎えました。これを記念して、朱振南・南奎雲友好書画展を開催します。朱振南さんは国立台湾師範大学などで講師を務める傍ら、欧米各地で展覧会を開くなど活躍中の書画家。盛岡市在住の南奎雲さんは、毎日書道展審査員を務めるなど現代日本を代表する書家です。会場にはお二人の作品80点のほか、山田書道会や日本画クラブ、山田高校書道部の皆さんの作品も展示されます。ご家族、友人お誘い合わせの上、お気軽にご来場ください。

◆問い合わせ 町教育委員会事務局文化担当 (☎82-3111内線624) へどうぞ。

山田
広報

No

840

今号の
主な内容

施政方針の内容

平成17年度一般会計予算の中身

町の全会計予算の132億円の使いみち

みんなのスペース

町のわだい

2~5

6

7

8~9

10~11

4月1日号 2005

CONTENTS

町民の知恵と情熱織り込み 協働でできる町づくりを全力

平成十七年度の町政の進む方向を決める、第一回町議会定例会が二月二十二日から三月十一日まで開かれ、十七年度の一般会計予算などが原案どおり可決されました。初日には、沼崎喜一町長が「町民の皆さまの参画を得ながら、知恵と情熱を織り込むべく、町民の皆さまと協働できる町づくりのため、全力を傾注する決意です」と第七次山田町総合発展計画の五つの柱を基本に、本年度の基本方針を述べました。今号では、施政方針の主な内容と十七年度予算の中身を紹介します。



施政方針を述べる沼崎喜一町長

施政方針の内容

においても合併推進協議会が組織され、拠点漁協となる山田地区一漁協実現に向けて協議が進められており、引き続き支援してまいります。山田漁業協同組合連合会の山田魚市場における衛生管理について、漁業経営構造改善事業で、新たに紫外線海水殺菌装置、電解海水防汚除菌装置、海水ろ過機などの整備を助成し、水産物食品の安全性を確保し、より新鮮で安全な水産物を提供できるものと期待しております。

漁業後継者の育成は、「水産グループ21」の中で、若手漁業者に学習の機会を与え、小中学生に対しては、漁業体験学習を実施してまいります。漁港、漁村の整備については、県事



地域活性化のため産業、技術、人材など地域にあるさまざまな資源を掘り起こし、有効に活用することが重要で、カキの水揚げ作業

平成十七年第一回山田町議会定例会が開催されるに当たり、平成十七年度における町政運営の基本的な考え方ならびに主要な施策について申し述べ、町民ならびに議員の皆さまのご理解とご指導をいただきたいと思っております。私は、昨年七月、町民の皆さまの負託を受け、二期目の町政の重責を担うこととなりました。

今年、第七次山田町総合発展計画

情報化社会に適応し、地域特性を生かす産業のまち 水産業の体験型観光を推進

地域活性化の潜在的な核となるのは、「地域資源の有効活用」であると思えます。地域の産業、技術、人材、自然環境、文化、歴史などが地域が持っているさまざまな資源を掘り起こし、地域住民の知恵と工夫によって有効に活用することが重要であると考えます。水産業の振興については、生食用殻

付きカキの生産十二億円台維持、増大を目標に、ノロウイルス対策、販路拡大の充実を図るため関係機関への積極的な働きかけや消費拡大に向けたイベントなどを支援してまいります。岩手県漁協系統は、平成十七年度末十一拠点漁協、十九年度末県一漁協に合併する決議をしております。本町に

業として行う船越・大浦漁港広域漁港整備事業、大沢漁港機能高度化事業の促進により、着実な整備が図られるとともに、漁業集落環境整備事業は、大沢地区は平成十七年度で事業が完了します。田の浜地区においては、十八年度事業完了に向けて、集落排水、集落道の整備を進めます。

農業については、昨年十一月一日完全実施された「家畜排せつ物の管理の適正化および利用促進に関する法律」に対応するため、「山田町堆肥センター」を建設し、環境保全に配慮した施設整備を行いました。今年度は有機肥料の出荷施設整備のためのバイオマス活用フロンティア事業を実施します。林業については、間伐などの森林施策を推進するため、森林整備地域活動支援交付金事業を実施し、森林の荒廃

業として行う船越・大浦漁港広域漁港整備事業、大沢漁港機能高度化事業の促進により、着実な整備が図られるとともに、漁業集落環境整備事業は、大沢地区は平成十七年度で事業が完了します。田の浜地区においては、十八年度事業完了に向けて、集落排水、集落道の整備を進めます。

豊かな生活を育む自然・環境をつくるまち 快適で安全な生活基盤築く

今日の環境問題は、水質汚濁、ごみ処理、ダイオキシシンや環境ホルモン問題など複雑多様化してきており、この問題の共通の原因は、私たちの日常生活や通常の事業活動に起因し、不特定多数の人々が原因者となっており、このようなことから、環境への負荷ができる限り削減され、持続可能な社会を実現するため、町民・事業者・町それぞれの役割分担に基づく、循環型社会の構築が求められております。

「山田の海を守る」活動は、産業の中心基盤である山田湾、船越湾を次世代に引き継ぐことであり、資源の循環に向けてゴミの減量化と再資源化に取り組みます。次に住環境の整備については、下水道事業が船越処理区において、全体計画面積の百六十二・二分のうち、十六年度末で整備面積の九四・五%の整備率であり、今後は水洗化の普及促進に努めてまいります。山田処理区にお

ては、十七年度で処理場用地の取得を終了し、新たに幹線管渠布設工事に着手いたします。下水道など集合処理の対象外区域での水質汚濁防止対策としては、合併処理浄化槽設置事業を推進してまいります。

上水道事業については、中央監視データ処理設備整備事業、中央町の町道海岸中通線老朽管更新事業、柳沢北浜地区土地区画整理地内においては、配水管布設事業を実施してまいります。柳沢北浜地区土地区画整理事業は、地区内の幹線道路である細浦柳沢線、柳沢北浜線、北浜関谷線の一部舗装などで、北つ子橋については三月末には供用開始ができるまで整備されました。また、本年度は県立山田病院の新築工事が始まる年でもあり、街路築造、北浜水路築造、宅地造成、家屋移転などを着実に進め、良好な市街地の形成に努めてまいります。

柳沢第一団地建替事業は、平成十六年度から十七年度までの二カ年の継続事業で四階建て一棟二十八戸（うち高齢者向け九戸）の三棟目のE棟が完成しますので秋ころの入居に向けて所要の整備を進めてまいります。

県道については、一般県道宮古山田線の国道までの改良、主要地方道重茂半島線の急カーブ改良、幅員拡幅などを県に要望してまいります。町道については、県代行事業での織笠・外山線は、国道取り付け工事が完成予定であり、新年度早い段階での供用開始を進めてまいります。その後、町道細浦柳

沢線を県代行事業として整備促進が図られるよう県に要望してまいります。また、長林大浦線局部改良事業、生活関連道については、維持補修計画に基づき私道等整備補助事業などを活用しながら整備に努めてまいります。テレビ難視聴地域の解消については、豊間根繁地区のテレビ共同受信施設整備事業を支援してまいります。津波・高潮対策については、県事業



少子高齢化が進んでいる中、一人ひとりが健やかで心豊かに安心して生活ができる町づくりを進めていきます(昨年の敬老会)

人と人が支え合う温かい心の通うまち 防災計画を総合的に見直す

での大浦漁港の海岸保全事業が平成十六年度で完成し、山田漁港については本年度完成の予定であります。大沢漁港については十六年度から事業に着手しております。また、織笠川河口の防

潮水門の築造については、三陸高潮対策事業で十五年度から調査事業に着手しております。国土調査事業は、船越第十六地割、およそ百七十七筆について、地籍調査を進めてまいります。

少子高齢化が一段と進んでいる中、一人ひとりが健やかで、心豊かに安心して生活ができる活力のある町づくりを、情報共有のもと町民の参画を積極的に進めながら協働して推進していかなければならぬと考えております。

地域保健の充実については、単に、病気の早期発見、早期治療にとどまることなく、病気の発生を予防する「一次予防」に重点を置いた健康づくりを旨とし、「健康やまだ21プラン」を実践する保健事業の推進に努めてまいります。母子保健事業としては、幼児期のフッ素塗布によるう歯予防、乳幼児期からの基本的食習慣の確立のため、「もぐもぐ・離乳食教室」「パクパク幼児食教室」を継続してまいります。地域医療については、本町の中核医療機関である県立山田病院の移転新築事業が本年度に予定されており、引き続き医師の確保が図られるよう強力に要請してまいります。

国民健康保険事業については、国保税の収納率の向上、医療費の適正化対策の強化を図りながら、保健事業を推

進してまいります。児童・家庭福祉などの充実については、昨年開設した山田南小学校放課後児童クラブに十四人入所しており、本年度からは山田北小学校区の児童も受け入れ、両親が就労する家庭の子育て支援を充実してまいります。介護保険事業の推進については、訪問介護、訪問入浴介護が県内でも高い利用実績を残しており、円滑な保険給付がなされています。第三期介護保険事業計画は、国による介護保険制度の見直しにより、本町の事業計画も大きな変換を迫られますが、平成十

一人ひとりがキラリと光る生涯学習のまち 友好都市5周年行事を開催

魅力ある地域社会を築くには、新しい時代に適応した個性と創造性が必要です。個性や創造性は、学校教育、生涯教育や文化活動を通してはぐくまれるものです。このため、一人ひとりの個性を活かし、豊かな創造性を育てるとともに、だれもが学べる生涯学習環

境の形成、地域文化の創造や伝承に努め、歴史を大切にする町づくりを推進します。生涯学習の推進については、生涯学習ガイドブック、公民館だよりなどによる学習情報を提供し、自治会などコミュニティ組織の自主運営による地



町では経常経費の徹底した節減に努めていきます

域に合った地区生涯学習講座の開設支援を実施してまいります。学校教育の充実については、各学校ごとに「学力向上プラン」を作成し、基礎・基本の徹底を図り、小中連携教育の推進に取り組んでまいります。情報教育の充実を図るため、平成十四年から始めたコンピューターの整備は今年度、山田南、山田北、大浦小学校に導入し、町内小中学校すべてに配置されます。今後は、情報活用能力の向上に努めてまいります。

芸術・文化の振興については、町民芸術祭を開催し、町民の展示・発表の場を大事にしながら、自主的な町民の

計画の推進 さらなる行財政改革を実行

本町の財政状況は、昨年十月に示しました「財政計画2004(9月)」に

おいて、平成十六年度に引き続き十七年度においても財源不足が生じると見込まれ、依然として厳しい状況が続いております。「三位一体の改革」による影響額は、平成十七年度当初予算で、およそ九千万円の減を見込んでの予算編成となりました。このように連続して歳入不足が生じること、異常な状況が続いていると言わざるを得ず、この緊急事態を踏まえ、さらに大胆かつスピード感のある改革を実行しなければなりません。今後とも、限られた財源の重点的配分と経費支出の効率化を

進め、経常経費全般について徹底した節減に努めてまいります。

「e」役場の推進については、IT環境の大きな変化により、電子市町村の実現にはセキュリティに関する高度な技術開発などいろいろな課題があります。「広報やまだ」やホームページによる町政の情報提供、「e」ご意見番による広聴活動を推進してまいります。

行政推進体制の効率化については、平成十六年十一月、「山田町堆肥センター」の設置にあたっては、指定管理者制度を適用し、民間団体を管理者に指定したところであり、今後は既

存施設への制度適用に努めてまいります。また、将来の児童数減少を見通し、就学前施設の民営化等効率的運営を推進してまいります。

行政ボランティア従事環境整備については、町の各種行政事務に協力する町民ボランティアの傷害保険及び損害賠償保険加入に対する支援体制を整えます。職員定員適正化計画は、前倒しで実行しており、平成十七年度で二十二年度の目標を達成します。これからも、スリムで柔軟な行政経営システムの確立に努めてまいります。

広域行政の推進については、宮古市、田老町、新里村が平成十七年六月に合併し、新市が誕生する方向でありますので、その後、新たな広域連携に向けて努力してまいります。山田町合併五十周年記念事業については、十月二十三日の記念式典を中心にして、各種団体とも連携して事業を展開してまいります。

◆◆◆◆◆
以上、平成十七年度における主要な施策について申し述べてまいりました。昨年末に、国は「三位一体の改革」

七年度に策定し、十八年度からの実施に向け、介護保険制度の周知をより一層進めてまいります。

交通安全の対策については、交通事故の被害者として高齢者が増加しており、幼児から高齢者までの交通安全教室の中で、特に高齢者に力を入れた警察・交通指導隊などによる交通安全教室を開催し、街頭啓発活動では、飲酒運転撲滅運動、高齢者交通事故防止運動を交通安全対策協議会などと連携しながら進めてまいります。

消防・防災対策の充実については、地域の防災力を高め、安全な地域社会づくりのためには、地域住民により組織され、地域に密着した消防団がリーダーとなり、町と住民が一体となって役割を担っていくことが必要であり、特にも、大規模災害時において、住民自らが主体となって防災活動を行うことが大切であります。本年度は、山田町地域防災計画の総合的な見直しを行います。

の全体像を示しましたが、まだ、不明確な事項や先送り事項が多いものであります。地方交付税については、「地方団体の安定的な財政運営に必要な地方交付税、地方税などの一般財源の総額を確保する」とこととされました。全国町村会など地方六団体は、内容的には不満が残るものの国と地方が初めて交渉のテーブルに上がったことを評価し、これを受け入れることとしました。

地方分権一括法の制定により形の上では国と地方の関係は対等のものとなりました。しかし、税配分と事務量のアンバランスな構造は変わっておらず、国庫補助負担金に頼らなくても地方が自立できるような真の「地方分権改革」が必要であります。昨年、地方六団体が一体となって国に要求した改革案の実現を目指して、今後も積極的な行動が求められております。

わずか数年前ですら予測もつかなかった今日の厳しい環境の中に私たちは置かれております。この激流に対して的確に対応していかなければならないのは当然のことですが、ともすればその厳しさゆえに、小さく固まって、後ろ向きになりがちな風潮もあります。

しかし、それだけでは未来への展望は開けません。私は、地方分権や財政の厳しさに応じた改革を進めながら、地域にとって必要な課題については積極果敢に挑戦する気持ちを失わず、町民の皆さまとの協働の作業を重ねながら新たな地平を切り拓いていく決意であります。

平成17年度 一般会計予算

第7次 総合発展計画の最終年度

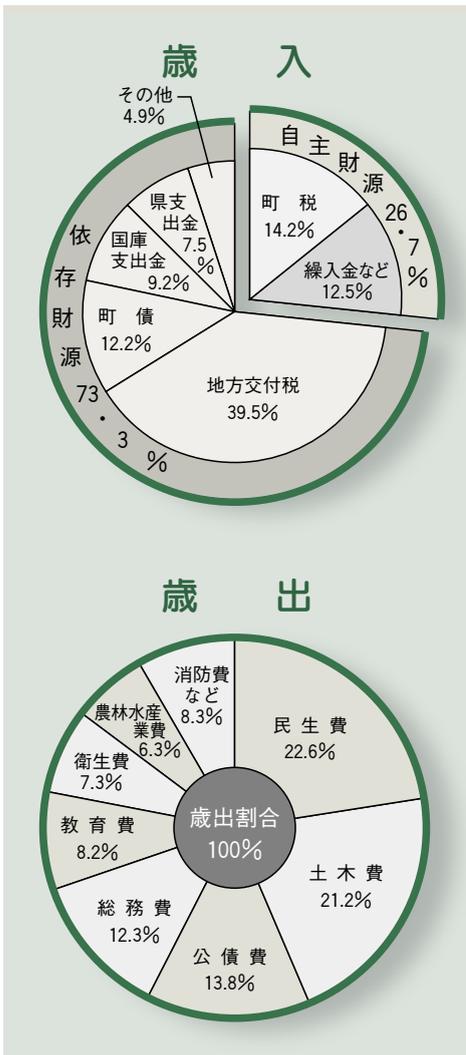
総額71億円で町づくり

平成十七年度の町一般会計予算の総額は、歳入、歳出それぞれ七十一億六千六百四十五万円です。長引く景気低迷の影響などで、町の当初予算は前年と比べ五・三%の減となっています。厳しさを増す町の財政事情ですが、限られた財源の効率的な運用に努めるとともに、本年度は第七次町総合発展計画の最終年度でもあることから、計画の達成に向けて各種事業を着実に推進していきます。

歳入（町に入ってくるお金）で最も大きな割合を占めるのが、地方交付税の二十八億二千九百万円（前年比〇・一%増）、全体の三九・五%を占めています。次に多いのが皆さんから納めていただく町税で、十億一千七百八十二万円、前年と比べ〇・一%の減となっています。国や金融機関などから借り入れる町債は八億七千七百四十万円、前年と比べ二・六・六%の減となっています。これは、投資的経費の抑制により、農林水産業債や土木債が前年より二億一千八百五十万円の減となったほか、地方交付税の財源振り替えである臨時財政対策債が前年より九千八百八十万円減ったことによるものです。

歳出（町が各種事業などに使うお金）で最も多く配分されたのが、民生費の十六億一千七百六十五万円。歳出全体の二二・六%を占め、前年比で〇・六%の減となりました。次に多いのは、土木費の十五億一千九百九十七万円（前年比六・〇%減）。主な事業として、柳沢北浜地区土地区画整理事業、町営住宅柳沢第一団地（E棟）建替事業、長林大浦線改良事業などがあります。町債の返済に充てる公債費は、九億八千八百二十万円、前年と比べ一・六%の減となっています。前年比で著しく減少したのが農林水産業費で、二・三・二%減の四億五千九十八万円。これは、堆肥センターが十六年度でほぼ完成したことによるものです。

◆平成17年度一般会計予算の構成比



◆平成17年度一般会計歳入歳出当初予算の状況

(単位：万円)

歳入			歳出			
区分	予算額	伸率	区分	予算額	伸率	
自主財源	町税	101,782	△ 0.1	民生費	161,765	△ 0.6
	繰入金	69,790	△ 8.0	土木費	151,997	△ 6.0
	分担金・負担金	9,204	△ 3.2	公債費	98,802	△ 1.6
	使用料・手数料	7,271	△ 5.4	総務費	88,016	△ 5.3
	諸収入	2,614	△ 6.7	教育費	58,656	△ 7.9
	財産収入	436	3.7	衛生費	52,172	△ 2.7
	繰越金	10	0.0	農林水産業費	45,198	△ 23.2
	寄附金	0	0.0	消防費	37,513	△ 6.5
依存財源	地方交付税	282,900	0.1	議会費	11,250	△ 0.4
	町債	87,740	△ 26.6	商工費	10,656	1.8
	国庫支出金	65,543	△ 2.7	労働費	119	△ 1.2
	県支出金	53,405	△ 8.0	災害復旧費	1	0.0
	地方譲与税その他	20,640	4.0	予備費・その他	500	△ 28.6
合計	716,645	△ 5.3	合計	716,645	△ 5.3	

町の全会計 予 算

132億円の使いみち

町の平成17年度一般会計予算と各特別会計、水道事業会計を合わせた予算総額は132億4,793万円。町民の皆さんが笑顔に満ちた町づくりを目指し、大切な予算として活用します。ここでは、本年度行われる主な事業を紹介します。

◆平成17年度各会計の予算額

- ・一般会計……………71億6,645万円
- ・国民健康保険特別会計……………23億4,304万円
- ・老人保健特別会計……………16億9,264万円
- ・介護保険特別会計……………11億9,222万円
- ・簡易水道事業特別会計……………7,380万円
- ・漁業集落排水処理事業特別会計……………1億6,960万円
- ・公共下水道事業特別会計……………3億4,090万円
- ・土地取得事業特別会計……………6万円
- ・水道事業会計……………2億6,922万円

総務課

- ◆情報化推進費 1,178万円
豊間根・繫地区のテレビ難視聴地域解消事業補助金720万円などが盛り込まれています。
- ◆国勢調査費 1,033万円

企画財政課

- ◆国土調査費 689万円
船越16地割（約177筆）の地籍調査を実施します。

税務会計課

- ◆路線価補正業務委託料 280万円
- ◆納税貯蓄組合補助金 401万円

産業振興課

- ◆畜産振興費 6,915万円
堆肥センター出荷施設工事費5,110万円を計上しています。
- ◆漁業経営構造改善事業費補助金 1,937万円
山田魚市場に紫外線海水殺菌装置、電解海水防汚除菌装置などを整備するための補助金です。
- ◆大沢漁業集落環境整備事業 8,001万円
- ◆田の浜地区漁業集落環境整備事業 8,011万円
- ◆織笠漁業集落環境整備事業 1,000万円
漁業集落環境整備事業は、海の世界保全や漁村の生活環境の改善を目的に、下水道、集落道、緑地広場、防火水槽などの施設整備を長期的に進めています。
- ◆商工業振興費 816万円
- ◆観光費 2,062万円
各イベント開催事業費のほか、山田の魅力発信実行委員会補助金100万円が盛り込まれています。
- ◆旅行村管理費 3,502万円

住民生活課

- ◆海を守る推進費 412万円
- ◆国民健康保険事業 23億4,304万円
国民健康保険は病気やけがに備えて加入者の皆さんがお金を出し合い、病院にかかる際の医療費に充てる支え合いの制度です。

- ◆老人保健事業（医療費関係） 16億9,264万円
老人保健制度は75歳以上（重度障害者は65歳以上）の高齢者が、病気になっても安心して医療が受けられる制度です。
- ◆児童手当給付 1億1,025万円
- ◆塵芥し尿処理費 3億104万円

保健福祉課

- ◆知的障害者支援費 1億5,300万円
- ◆老人福祉費 3億6,878万円
▷老人保護措置委託料…1,749万円▷在宅介護支援センター運営委託料…1,420万円▷町シルバー人材センター運営事業補助金…270万円
- ◆保育園・児童館費 2億1,860万円
- ◆子育て支援事業費 1,377万円
- ◆介護保険事業 11億9,222万円
歳出総額の98.1%を占める保険給付費は11億6,998万円で、訪問介護や通所介護、施設介護など、各種サービス費用に充てられます。

地域整備課

- ◆道路維持費 5,033万円
- ◆道路新設改良費 5,001万円
- ◆土地区画整理費 6億3,486万円
▷柳沢北浜線、区画道路などの工事費…2億5,583万円▷建物等移転補償費…3億3,906万円
- ◆町営住宅建設費 2億7,072万円
町営住宅柳沢第1団地E棟の建設工事費などに2億6,541万円を計上しています。
- ◆公共下水道事業 3億4,090万円
快適な生活環境と海や河川の水質保全を目的に、船越と山田地区で公共下水道事業を実施しています。

消防防災課

- ◆消防施設費 748万円
柳沢地区の防火水槽築造工事費500万円などが盛り込まれています。

水道事業所

- ◆上水道柳沢北浜地区配水管布設事業 3,000万円
- ◆簡易水道等整備事業費 2,540万円
豊間根簡易水道の配水管布設替工事などを行います。

教育委員会

- ◆小・中学校教育振興費 5,958万円
山田北小、山田南小、大浦小の3校に配備するパソコンリース料を計上しています。
- ◆文化費 717万円
房の沢古墳群の出土品の保存処理を行う文化財保存処理委託料208万円を計上しています。
- ◆人づくり事業費 940万円
ジュニア海外使節団派遣事業の旅行業務委託料426万円を計上しています。



杉谷 誠一さん (山田・70歳)

登校児童を見守り続けて10年

★どんな仕事をしていましたか
学校を卒業してから、町内の製材所と釜石市の製材所に合わせて四十年くらい勤めました。
★今頑張っていることは
山田北小学校に通う子供たちの登校交通指導をボランティアで行って、もう十年以上になります。子供たちを交通事故から守るためと思って、学校がある日は毎日やっています。

★始めたきっかけは
町防犯隊に入隊したところに桃山橋の所は見通しが悪く、交通量も多くて危険だということを知ったのがきっかけです。
★最近の出来事は
この活動を続けていたことで、町教育委員会表彰をいただきました。自分ではそんな大したことをしていないつもりはないですが、ありがたいことです。
★最後にひと言
一番末の孫が北小の児童なので、孫が卒業するまでは続けていきたいですね。

イラスト



威繪 善徳 (15) 新学年 V 5 (17) 月咲 よあん (16) 伊藤 有紗 (13) まめつち (?) おのほるな (6) 稲川 美里 (11) 山崎 心 (11) さとう あきえ (7) 佐々木 梨沙子 (10) 中村 チヨビ子 (?) みなと ゆうき (4)

みんなのスペース



にしかわ ともやくん (船越保育園・5歳)

ぼくのゆめ

大きくなったら大好きな
シヨベルカーも運転したいな。
よく互事を見に行ってるんだ。

古里への便り①



ふる里山田同郷の会顧問
神奈川県藤沢市
藤五郎さん (76歳)
〔中央町出身〕

山田町の皆さま、「ふる里山田同郷の会」の皆さま、お元気で過ごしのことと存じます。本日は、「広報やまだ」に寄稿できる喜びとお礼の言葉を述べさせていただきます。
昨年の秋、ふる里山田同郷の会の役員会において、沈滞気味のふる里会を活性化するための話し合いが行われ、▽ふる里会

設立当初のように、総会に郷土芸能を出演させてもらいたい
▽広報やまだに寄稿欄を設けてもらいたい
い—などの意見が出されました。

ふる里会に出演した郷土芸能の一番手は関谷の大神楽と関口の剣舞でした。都会で響くあのドンドンという大きなリズムと勇猛な舞は実に圧巻でした。二十年前に出演したお父さんたちのあの喜びと感動を、子供たちにもぜひ味わわせてあげたい。あつ、これが「ふる里愛」なのだ。その心情を思うとき何とかして今年六月十九日の「ふる里山田同郷の会」総会に郷土芸能の出演を実現させたいと思う、このごろです。
末尾に一言。昭和三年辰年生まれ、祝、喜寿「人生、生きてるだけで〇もうけ、頑張ろう」。

投書

どんなことでも結構です。どしどしお寄せください。

大津波の記事を読んで

広報やまだの「大津波は必ずやって来る」を読み、参考にしなければと思っています。まさかとは思いますが、テレビで見たあのインド洋大津波の惨事には驚きますよね。ここにも近い

将来、大津波が襲来するという話があるので、津波に備えて「あれはある、これが必要」と子供と話をしています。実際起きた場合、本当に対応できる心配です。特に子供たちと離れて暮らしているのが一番の心配事です。避難の際は、家族で声を掛け合って安全な場所にそろうって避難したいですね。
黒澤頼江 (船越・?歳)
◇ ◇ ◇
広報やまだで、宮城県沖地震の発生する確率は十年以内に五十%、三十年以内に九九%—

交通安全を心掛けよう

今年も春の全国交通安全運動が四月六日から始まります。

本町では昨年一年間に交通人身事故が四十二件も発生し、うち一件が死亡事故。過去に例を見ない一度に三人が亡くなるという痛ましい事故でした。このような交通事故を起こさない運動として、立て看板を設置したり街頭指導の活動を根気強く行ったりしているものの、依然として交通事故が減らないのが現状です。昨年十月二十三日から交通死亡事故ゼロを継続して日は浅いですが、本町はかつて三年あまりの実績があることから、死亡事故ゼロの継続は決して不可能なことではありません。

継続は力なりという言葉どおり運転者一人ひとり、町民一人ひとりが一層の安全運転を心掛け、悲惨な交通事故のない山田町にしていくために、皆さまのご協力をお願いしたいものです。
西館隆 (船越・?歳)

黒森神楽に魅せられて

春の風物詩ともいえる郷土芸能、宮古市山口の黒森神楽の船越巡業が三月五日晩、船越防災センターで披露され、わたしたち中高齢者約四十人の観衆を心ゆくまで魅了した。県指定無形

民族文化財とあって、どの演目も尊厳さと気品に満ちた舞であった。午後六時半から九時過ぎまでの長時間のプログラムで、わたしたちは、しばらくぶりに目にした神楽に、ただうっとり見入った。こんな意義ある勇壮な舞をわたしたち一部の観衆で見るのが惜しい気がしてならなかった。スタッフ約十二人の中には、まだ中学生などの若者もいて、活気に満ちた舞には、やはり期待感を意識した。そして貴重な三陸沿岸部の文化財をいつまでも絶やさぬよう、若い世代に継承されたいものと願わずにいられたかった。今でもあの囃子の余韻が頭をかすめる。
齋藤忠雄 (船越・?歳)
◇ ◇ ◇
過ぎし日を
泣きつ笑いつ語り合う
農の唄ら皆逞しき
佐藤美栄子 (大沢・84歳)
初登校思ひ出の日今朝の顔
佐藤菊實 (荒川・77歳)
カラオケで
オンチながらも気を癒す
松崎静雄 (船越・?歳)
友とゆく春めく空を田んぼみち
古藤野強 (豊間根・?歳)
素直なる心を常に保てよと
経本くれし亡き母思ふ
菊地サカエ (織笠・70歳)



今月の題字
黒沢純平君
(船越小6年)

町のわだい

陸中山田ライオンズクラブ 義援金110万円を寄託 大津波被害の復興に役立てて

陸中山田ライオンズクラブ(佐藤葵会長)が、インド洋大津波の被災地を支援しようと義援金約110万円を日本赤十字社県支部山田町分区(分区長・沼崎喜一町長)に寄託しました。同クラブは3月5日、200以上の企業・団体の協賛によりチャリティーショーを開催。入場料を義援金に充てたほか、会場でも募金を呼び掛けました。贈呈式は3月22日に役場で行われ、佐藤会長ら4人が訪問。佐藤会長が「被災地の復興に役立ててください」と沼崎町長に義援金を手渡しました。義援金は日赤を通じて被災地に送られます。



新製品開発の発表大会 本町の2社が金賞と銅賞

宮古・下閉伊地域の企業、団体、社員が新製品や作業効率の改善策を発表し合う生産革新・新製品開発発表大会(宮古・下閉伊モノづくりネットワーク工業部会主催)の新製品開発部門で、本町の川石水産が金賞、有限会社丸田屋が銅賞を受賞しました。川石水産が開発した商品は、ホタテの貝殻を皿にしたグラタンや、ホタテの貝柱を特製のたれで焼き上げた焼きホタテなどを詰め合わせた「ホタテ海童の贈物」。丸田屋の商品は、オリジナルの焼酎・純米吟醸と地元の海産物をふんだんに練り込んだラーメンを詰め合わせた「オランダ島山田ほろ酔いセット」です。商品の開発に携わった川石水産の川石睦代表と丸田屋の阿部喜美子さんは「山田の新鮮な食材を生かした新製品をさらに開発し、県内外にPRしていきたい」と話していました。



南極の氷で総合学習 自然の素晴らしさを実感

自衛隊宮古募集事務所(四戸常雄所長)が3月4日、総合学習の教材に役立ててもらおうと山田南小学校に南極の氷をプレゼントしました。この氷は、海上自衛隊の南極観測船「しらせ」が昨年持ち帰ったもので、大きさは約25平方角。授業に参加した5、6年生の児童95人は、四戸所長から南極について説明を受けた後、氷を触ったり、コップに氷を入れて数万年前に閉じ込められた気泡のはじける音を聞いたりするなど、自然の素晴らしさを実感していました。



家族経営協定調印式



本町4組目の家族経営協定 明るく楽しい営農を誓う

本町4組目の「家族経営協定」の調印式が3月14日、役場で行われました。家族経営協定は、家族が農業経営の役割分担や就業条件などを文書で明確にし、経営の安定と発展を目指すもので、今回締結したのは荒川でシイタケ、水稲、野菜栽培を営む芳賀計市さん(61)、あつ子さん(54)、隆さん(26)、幸子さん(26)家族。調印式では、沼崎喜一町長、町農業委員会の武藤清吉会長、宮古農業改良普及センターの高橋定一所長らが見守る中、4人が協定書に調印しました。調印後、計市さんは「家族全員で協力し合い、明るく楽しい農業経営をしていきたい」と抱負を述べました。

マリン・ツーリズム山田設立総会 漁業と観光の連携に意欲

3月24日、「マリン・ツーリズム山田」の設立総会が役場3階大ホールで行われました。都市住民に漁業体験の機会を提供し、心と物の交流を図ることを目的に町内の漁業者5人と民宿、ホテル経営者2人で組織されたもので、設立総会には会員など20人が出席。会則や事業計画、予算などを決定し、会長に菊地和三さん(63歳)＝織笠＝を選出しました。菊地さんは「漁業と観光を連携させ、山田の素晴らしさをPRしていきたい」と活動に意欲を見せていました。



海洋深層水セミナーに650人 水産業への利活用に熱い期待

3月21日、NPO法人日本海洋深層水協会(中島敏光代表理事)主催の第1回海洋深層水セミナーが町中央公民館を会場に開かれました。会場には、全国から会員や水産関係者ら650人が参加。寺崎誠東京大学海洋研究所教授などによる講演や、山田町をはじめとした市町村や研究者の事例発表が行われました。その後のパネル討論には沼崎喜一町長が参加し「この地域では深層水を利用した食品などの製品化は可能ですが、一番の目的である水産業への活用は、深層水が安価で大量に提供できる手段を探すことがこれからの課題」と述べました。海洋深層水は全国16カ所で取水され、活用されていますが、三陸沖は取水施設が無い「空白域」となっており、今後の利活用へ期待が高まっています。





長蛇の列ができたカキ焼きうどんの無料試食(写真右)／カキ積み大会に挑戦する子供たち(写真左)



山田てんこ盛りフェスタ2004

山田 カキまつり

9,000人が海のミルクを堪能

3月20日、「山田カキまつり」が大沢漁協前で開かれました。山田町商工会が中心となって組織する山田の魅力発信実行委員会（阿部幸栄会長）が、通年事業の「山田てんこ盛りフェスタ2004」の一環として開催したもので、会場は9,000人の家族連れなどでにぎわいました。会場には殻付きカキや特産品が市価より30～40%ほど安く並び、訪れた人たちはまとめて買い求めていました。カキ汁、焼きガキ、ジャンボ鉄板で作るカキ焼きうどんの試食コーナーには長い列ができ、カキ汁は1時間ほどで1,500食分がなくなるほどの人気。中学生以下を対象に30秒間でどれだけ多くのカキを皿に積みられるかを競うカキ積み大会や、無料のカキむき体験もあり、子供から大人まで次々に挑戦していました。長柄の二本かぎを使って3分間でカキやホタテの取り放題では、うまくすくい上げるたびに歓声が上がっていました。当日は養殖いかだの見学船も運航され、消費者に養殖への理解を深めてもらうなど、殻付きカキの生産日本一を誇る山田の魅力を広くPRしました。



カキむき体験では、慣れない作業に苦戦していました(丸写真)／初めて見る養殖いかだに興味津々の参加者たち



購入したカキやホタテをその場で焼いて食べられるバーベキューコーナーも大盛況

町長室から

待望久しかった「山田カキまつり」が三月二十日大沢漁協前で初めて開催され、好天にも恵まれて九千人以上のお客さまでにぎわいました。主催者の予想をはるかに上回る来客に、一時目玉商品である殻付きカキが品切れとなり、関係者を慌てさせる場面もあったようですが、無事終了しました。

今シーズンのカキの出荷は、ノロウイルスの風評被害もあり伸びなかったようですが、新たな販路拡大のためにも今回のまつりから得るものは多かったのではないのでしょうか。

これで、本町のイベントは三月のカキまつり、四月・五月のアサリまつり、夏のビーチフェスティバル、オランダ島まつり、九月の秋祭り、十一月の鮭まつりと四季を通じて楽しんでいただけるものとなります。カキまつり開催に当たりご尽力いただきました関係者の皆さまに感謝申し上げます。ご苦労さまでした。

山田町長 沼崎喜一

プレゼント500円の図書カードを
広報クイズ
214
 三つの中から正しいものを
 選んで、応募してね。

- 町の平成17年度一般会計予算、各特別会計、水道事業会計を合わせた予算総額はいくら？
 ①123億円 ②132億円 ③231億円
- 今号の「みんなのスペース」に掲載されたイラストは何点？
 ①11点 ②12点 ③13点
- 山田南小学校にプレゼントした南極の氷を持ち帰ってきた南極観測船の名前は？
 ①しらせ ②しらす ③しわす
- 今月の「一歳になりました」に登場している赤ちゃん14人のうち、男の子は何人？
 ①9人 ②10人 ③11人
- 今月17日に行われる町消防演習。公開訓練が行われるのは〇〇漁港？
 ①船越 ②豊間根 ③重茂

【応募方法】 下記のがきの要領でご応募ください。全問正解者の中から抽選で10人に500円の図書カードをプレゼント。応募は一人1通です。

500円	028-1392
山田町役場 広報クイズ係	山田町八幡町3-20

クイズの答え(例)	
①-A	④-C
②-B	⑤-C
③-B	
氏名 _____	
年齢 _____	
〒・住所 _____	

☆締め切り = 4月20日(当日消印有効)
 ☆前回の正解は、①-C、②-A、③-B、④-C、⑤-Bでした。応募者数は34通で正解は33通、抽選の結果次の10人が当せんしました。
 八幡町 = みなとゆうき(4) 飯岡 = 佐々木智子(57) 船越 = 大畑憂依(9)、佐藤啓子(27) 田の浜 = 山崎君子(69)、田代ヨネ(68) 織笠 = 昆濤子(14)、佐々木梨沙子(10) 古市 = 佐々木玲(27) <敬称略>



下水道

利用可能区域を拡大 新たに浦の浜地区の一部

現在、下水道は大浦、船越、田の浜、大沢地区のほぼ全域で利用できます。四月一日からは利用可能区域がさらに拡大。船越・浦の浜地区(図面参照)で利用できます。
 下水道が整備されることによって、皆さんのご家庭で水洗トイレを使用したり、台所や風呂などの排水を流したりすることができま

す。しかし、下水道が整備されても各家庭に接続していただかなければ、地域一帯の生活環境の改善が進みません。下水道が利用できる区域の皆さんには、快適な環境をつくり出す下水道の役割を理解していただき、下水道へ接続する排水設備工事を行うようご協力をお願いします。
 各家庭から公共汚水ますに接続する排水管などの排水設備工事の費用は、利用者の皆さんの負担になります。排水設備工事は町に登録している排水設備工事指定店で行います。指定店や工事費用の負担を軽減する融資制度などについて詳しくは、役場地域整備課下水道業務担当(☎82-3111内線212)へお気軽にお尋ねください。

整備されても各家庭に接続していただかなければ、地域一帯の生活環境の改善が進みません。下水道が利用できる区域の皆さんには、快適な環境をつくり出す下水道の役割を理解していただき、下水道へ接続する排水設備工事を行うようご協力をお願いします。

アサ(まつり)親子ペア 50組ご招待 プレゼントクイズ

今年山田町は、合併〇周年です。

クイズに正解した方の中から、抽選で親子ペア(小学生とその親の2人)50組を4月29日、5月8日に織笠川河口で開かれる「やまだアサ(まつり)」にご招待します。

- ◆**応募方法** はがきに▶答え▶住所▶氏名▶年齢▶電話番号——を記入の上、4月15日(消印有効)までにお送りください。
- ◆**発表** 当選者は招待券の発送をもって発表にかえさせていただきます。
- ◆**応募先・問い合わせ** 役場産業振興課商工観光担当(〒028-1392 山田町八幡町3番20号 ☎82-3111内線233)へどうぞ。

4月1日付

町職員の人事異動

- ◆**総務課**▷行政改革推進主幹兼務(同課政策評価対策主幹)昆和章▷防災対策主幹(同課課長補佐)内館健剛▷課長補佐(保健福祉課同)佐々木義伸
- ◆**企画財政課**▷上席副主幹(産業振興課同)鈴木隆康▷主任(産業振興課同)古館隆
- ◆**税務会計課**▷課長(教育委員会事務局教育次長)花坂守▷上席副主幹(地域整備課同)金濱輝男▷上席副主幹(同課副主幹)佐藤司気彦▷主査(豊間根支所同)福士優子▷主任(産業振興課同)芳賀道行▷主事(水道事業所同)横田龍寿
- ◆**産業振興課**▷上席副主幹(総務課同)菊池利博▷上席主査(税務会計課同)福士雅保▷主任(企画財政課同)武藤嘉宜▷主事(住民生活課同)山崎公生
- ◆**住民生活課**▷住民記録チームリーダー兼務(同課課長補佐)狩野真理子▷上席副主幹(教育委員会事務局同)関ヒデ子▷上席主査(税務会計課同)中村剛▷主事(企画財政課同)大川修一▷主事(税務会計課同)伊藤美智子▷主事(保健福祉課同)外館美穂
- ◆**保健福祉課**▷課長補佐(監査委員室室長)昆幸利▷上席主査(企画財政課同)沼崎弘明▷主査(税務会計課同)松崎由美子▷主任(議会事務局同)阿部説子
- ◆**地域整備課**▷上席主査(水道事業所主査)糠盛勝彦▷主任(教育委員会事務局同)伊藤尚生
- ◆**豊間根支所**▷副主幹(住民生活課同)佐々木勝子
- ◆**船越保育園**▷園長(大浦保育園同)上野美智子
- ◆**大浦保育園**▷園長(図書館副主幹)宇部洋子
- ◆**織笠保育園**▷栄養主査(豊間根保育園同)吉嶋和子
- ◆**豊間根保育園**▷園長(わかば幼稚園同)佐々木マサ子▷栄養主査(織笠保育園同)甲斐谷和子
- ◆**轟木児童館**▷館長兼務(保健福祉課長)山本誠▷館長補佐兼務(保健福祉課児童専門員)澤口ミネ子
- ◆**関口児童館**▷館長(同館上席児童指導主査)芳賀キエ
- ◆**水道事業所**▷上席副主幹(保健福祉課同)甲斐谷義昭▷上席副主幹(住民生活課同)佐々木清一
- ◆**議会事務局**▷主任(住民生活課同)福士雅子
- ◆**監査委員室**▷室長(住民生活課課長補佐)道又修
- ◆**教育委員会事務局**▷教育次長(税務会計課長)関一郎▷上席副主幹(水道事業所同)阿部敏文▷主査(地域整備課同)芳賀昭義
- ◆**中央公民館**▷館長(総務課行政改革推進主幹)阿部哲雄
- ◆**船越公民館**▷館長兼務(船越支所長)長岡豊
- ◆**豊間根公民館**▷館長兼務(豊間根支所長)佐々木千恵
- ◆**図書館**▷館長兼務(中央公民館長)阿部哲雄▷上席副主幹(保健福祉課同)内館佳子
- ◆**鯨と海の科学館**▷上席副主幹(同館主査)川部利一
- ◆**わかば幼稚園**▷園長(児童館長)花坂栄
- ◆**消防防災課**▷上席主査・小林一彦▷上席主査・里館敏彦▷主査・沢田達雄▷主査・福士勝▷主任・山本勝之▷主任・巖岩秀之▷主任・岩花一則▷主事・畠山健二
- ◆**退職《3月31日》**▷佐藤雄一(中央公民館長)▷白土一也(図書館長)▷及川正(産業振興課上席副主幹)▷関尚子(船越保育園長)▷福士久美子(豊間根保育園長)▷横田トモ子(税務会計課主査)▷高見菜央子(保健福祉課保健師)

町臨時職員を募集

15日までに申し込みを

- 町では、期限付臨時職員を募集します。選考方法は書類審査(履歴書)と面接です。
- ▽募集内容 下表のとおり
- ▽応募資格 町内に住所があり、下表の条件を満たす人
- ▽募集人員 一般事務補助：各課一人 保健業務補助：一人
- ▽賃金(日額) 一般事務補助：五千四百円 保健業務補助：七千三百円
- ▽申し込み方法 役場住民生活課または各支所に備え付けてある履歴書に必要事項を記入して申し込んでください。
- ※保健業務補助の場合は、保健師または看護師の資格免許証の写しを添付してください。
- ▽申込期限 四月十五日
- ▽申込先 役場総務課
- ▽問い合わせ 役場各担当課 (☎82-3111・下表の内線番号) へどうぞ。

◆募集内容

職種	応募資格	勤務場所	任用期間	担当課
一般事務補助	パソコンができる人	地域整備課	5月1日～8月31日	地域整備課下水道業務担当(内線212)
		産業振興課	6月1日～9月30日	産業振興課漁港漁村担当(内線232)
		水道事業所	〃	水道事業所庶務担当(内線650)
保健業務補助	保健師または看護師の資格がある人	保健福祉課	5月1日～8月31日	保健福祉課保健指導担当(内線165)

※各職種とも必要がある場合には、1回の更新があります。

低所得者の介護保険料を減免

対象となる方は申請手続きを

町では、低所得者を対象に介護保険料の減免制度を実施しています。減免の対象となる方は、下表の対象項目をすべて満たす人です。保険料の減額、免除ともに本人の申請により行われ、申請が認められると減額の場合は、保険料が第2段階から第1段階に減額されます。対象となる方は、お早めに申請手続きを行ってください。

▷問い合わせ 役場保健福祉課介護保険担当 (☎82-3111内線163) へどうぞ。

◆低所得者の介護保険料減免対象

区分	対象
減額	▶世帯全員が町民税非課税▶世帯の年間収入が120万円以下(世帯員3人目から1人につき40万円を加算)▶町民税課税者に扶養されていない▶町民税課税者と生計を共にしていない▶資産(預貯金など)を活用しても生活が苦しい
免除	減額対象者の五つの項目に該当する▶本人の年間収入が41万2,000円以下▶生活保護を受けていない

おしらせ

INFORMATION

山田町役場 ☎82-3111

町のホームページアドレス <http://www.town.yamada.iwate.jp/>



まちで出会ったかわいい笑顔

県内で就職希望者 対象の面接会開催

いわて就職面接会が行われます。どうぞご参加ください。

- ▷日時 4月22日(金)
午後1時～5時
- ▷場所 産業文化センターアピオ(滝沢村)
- ▷対象 県内就職を希望する人
- ▷内容 参加企業との個別面談、職業相談、適職診断など
- ▷問い合わせ 財団法人ふるさといわて定住財団(☎019-653-8976)へどうぞ。

スポーツ体験教室 19日に開催します

- ▷日時 4月19日(火)
午前10時～11時半
- ▷場所 勤労者体育センター
- ▷対象 小学生以上の町民
- ▷内容 ラージボール卓球
- ▷参加料 200円
- ▷申込期限 4月18日
- ▷申込先・問い合わせ 町教育委員会事務局社会体育担当(☎82-5505)へどうぞ。

4月の町長面談日

- ▷日時 4月15日(金)
午前10時～正午
- ▷場所 役場4階特別応接室
- ※面談希望の方は役場総務課内線413へご連絡ください。

4月から外国語 講座開かれます

- ◆中国語講座
 - ▷日程 毎週土曜日
 - ▷時間 午後2時～
 - ▷受講料 月2,000円
- ◆英会話教室
 - ▷コースと日程 小学生…毎週木曜日 社会人(入門・初級)…毎週火曜日 社会人中級…毎週木曜日
 - ▷時間 小学生…午後7時～ 社会人(入門・初級)…午後7時半～ 社会人中級…午後8時～
 - ▷受講料 小学生…月2,000円 社会人(入門・初級)…月3,000円 社会人中級…月4,000円
- ◆対象 小学生…小学3～6年、社会人…高校生以上
- ◆場所 龍昌寺仏教会館
- ◆申込先・問い合わせ 山田町国際交流協会(☎82-3651)へ。

保育士試験の申請 5月から受け付け

- 県保育士試験が行われます。
- ▷受験資格 大学に2年以上在学し、62単位以上習得した人か短大または高専を卒業した人(見込みを含む)など
- ▷試験日 8月3日、4日
- ▷試験会場 盛岡短大(滝沢村)
- ▷受験申請書の配布期間 4月11日～5月13日
- ▷受付期間 5月9日～20日
- ▷申請書の提出先 社団法人保育士試験事務センター(〒102-0071 東京都千代田区富士見1-2-32-301)
- ▷申請書の請求先・問い合わせ 役場保健福祉課児童福祉担当(内線131)へどうぞ。

行政相談あります

- ▷日時 4月21日(木)
午前10時～正午
- ▷場所 町中央コミセン
- ※行政について納得できないことなどご相談ください。

17年度ごみ収集 業者のお知らせ

- 平成17年度のごみ収集業者が次のとおり決定しました。
- ▷収集業者 可燃ごみ…中村義五郎(☎82-5777)、マルヨ産業運送(株)(☎82-4913)、山崎全悦(☎84-2024) 不燃ごみ・資源ごみ・粗大ごみ…(有)芳賀清掃社(☎86-2826)
- ▷問い合わせ 役場住民生活課環境衛生担当(内線127)へ。

映画上映会を開催 皆さんでご来場を

- 川井村の開拓地「タイムグラ」に住む「ばあちゃん」を15年にわたって追いつけたドキュメンタリー映画「タイムグラばあちゃん」の上映が行われます。当日は、澄川嘉彦監督による舞台あいさつもあります。皆さんどうぞご来場ください。
- ▷期日 4月24日(日)
- ▷時間 1回目…午前10時半～ 2回目…午後1時半～ 3回目…午後4時半～
- ▷場所 町中央公民館大ホール
- ▷料金 大人…前売り1,000円(当日1,300円) 子供…前売り600円(当日800円)
- ▷プレイガイド 三陸電気、マツモト、小国屋、鈴円商店、四海堂菓子店、ライフショップびはん、ハットリ、上林商店、シネマリーン
- ▷問い合わせ タイムグラばあちゃん上映実行委員会(箱石敦司委員長☎82-3753)へ。

歯やお口に関する テレホン相談開設

- 「ヨイ歯デーテレホン相談」が行われます。お気軽にどうぞ。
- ▷日時 4月18日(月)
午前10時～午後8時
- ▷相談内容 歯や口の悩み全般
- ▷電話番号 岩手県保険医協会ヨイ歯デーテレホン相談係(☎019-651-7341)へ。

自分の固定資産 確認しませんか

町では、4月1日から土地・家屋価格等縦覧帳簿と固定資産税課税台帳、路線価図をお見せします。土地・家屋価格等縦覧帳簿では、自分以外の固定資産の評価額や面積を見ることができます(所有者、課税内容などは見られません)。また、固定資産税課税台帳は、所有者だけでなく、借地・借家人も見ることができます。

土地・家屋価格等縦覧帳簿

- ▷期間 4月1日～28日
- ▷対象 納税義務者、納税管理人、代理人など

固定資産税課税台帳

- ▷閲覧の開始 4月1日～
- ▷対象 納税義務者、借地・借家人、代理人など

路線価図

- ▷閲覧の開始 4月1日～
- ▷対象 一般町民
- ※土・日曜日、祝日は閲覧できません。

- ◆時間 午前8時半～午後5時15分

- ◆場所 役場税務会計課
- ◆持参する物 印鑑、代理人の方は同意書か委任状、借地・借家人の方は賃借契約書などが必要です。

- ◆問い合わせ 役場税務会計課資産税担当(内線114)へ。

海上保安学校の 学生募集します

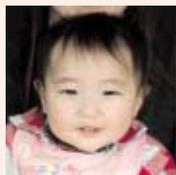
- 海上保安庁では、海上保安学校の学生採用試験を行います。
- ▷応募資格 昭和56年4月2日以降の生まれで、高校を卒業または卒業見込みの人
- ▷試験日 5月22日
- ▷試験会場 盛岡市
- ▷申込期限 4月8日
- ▷申込先 第二管区海上保安部(☎022-363-0111)
- ▷申込書の請求先・問い合わせ 人事院東北事務局(☎022-221-2022)へどうぞ。



川崎 純愛 (飯岡・奈津美・男)



佐々木 小春 (豊間根・武弘・女)



貫洞 楽来 (田の浜・圭太・女)



齊藤 匠 (山田・哲・男)



貫洞 奈央 (飯岡・雄一郎・男)



藤田 悠雅 (大沢・新二・男)

おめでとう・おくやみ



2月届け出分 (敬称略)

〔出生〕()は保護者名と性別

- ▷山田 芳賀希安 (文明・女)、平澤紗梨捺 (隆・女)、鈴木花絃 (直樹・女)、深田菜智 (房美雄・女)、畠山瑞姫 (慎太郎・女)、小野春陽 (浩樹・女)、瀬川周平 (幸介・男)
- ▷船越 三上結菜 (勇治・女)
- ▷田の浜 五十嵐絢美 (雄治・女)
- ▷豊間根 山内羅菜 (勝也・女)

〔結婚した二人〕()は住所

- 佐藤勝信 (山田)・熊谷美香 (大沢)
- 笹花弘行 (飯岡)・瀧磯里美 (大浦)

〔死亡〕()は年齢

- ▷山田 小笠原功 (65)、武藤千代地 (82)、岩間かず子 (56)、佐々木伊策 (82)
- ▷船越 福田ヒサ (77)、山口アサ (92)
- ▷田の浜 山崎キン (60)
- ▷大浦 野田賢太郎 (78)
- ▷織笠 菊池ミエ (71)、湊リヨ (99)
- ▷大沢 鈴木ヒフミ (89)、鈴木裕子 (68)、佐藤ツ子 (91)、鈴木繁治 (82)、福士七雄 (74)
- ▷豊間根 及川よし (85)、豊間根四郎 (76)、佐々木キヨ (85)
- ▷荒川 佐々木明広 (41)

町民のうごき

(2月1日~28日)

- ▷出生……10人 ▷転入……25人
- ▷死亡……20人 ▷転出……45人

- ▷人口…21,024人 (今月減30人)
- 男…10,100人 女…10,924人
- ▷世帯数……………7,262世帯



田老 悠花 (川向町・兼蔵・女)



佐藤 有太 (田の浜・清光・男)



大川 温叶 (飯岡・俊一・男)



箱石 花 (大沢・勘司・女)



阿部 舜 (織笠・良一・男)



佐々木 晃耀 (船越・雅昭・男)



金澤 秀弥 (船越・伸泰・男)



藤原 統 (長崎・洋・男)



佐々木 晃耀 (船越・雅昭・男)

4月生まれ

赤ちゃん紹介
一歳になりました



※敬称略・()内は地区名、保護者、性別です。

17日に町消防演習 皆様のご観覧を

町消防演習が行われます。どうぞご観覧ください。

▷期日 4月17日(日)

▷訓練の時間と内容 【開会行事】午前7時・山田南小学校校庭 【公開訓練】模擬火災防衛訓練…午前10時40分・船越漁村センター付近 放水訓練…午前11時40分・船越漁港田の浜婦人消防協力隊による初期消火訓練…午前11時55分



昨年の消防演習の様子

分・船越漁港 分列行進…午前11時20分・金濱輝男さん宅付近から佐々木公一さん宅付近までの町道田の浜新開地2号線、前須賀タブの木荘線

◆少しづつ寒さも緩みはじめ、春が近づいてきました。この季節は花粉症にお悩みの方も多そうですね。▼実はわたしもハウスダスト(ほこり)によるアレルギー性鼻炎が悩みの種。掃除した際などに一度ほこりを吸い込んでしまうと、二、三日はくしゃみ、鼻水などの症状に苦しんでしまいます。だから肌の掃除をするのは体質的に無理なんです。…というのは掃除をしない理由になりませんか？

◆今号から新たに「古里への便り」コーナーを設けました。古里山田を離れて都会で暮らす「ふる里山田同郷の会」の皆さんの近況などが掲載されます。広報を通じて山田と都会がより身近に感じられれば幸いです。▼今年、ふる里会は設立二十周年、山田町は合併五十周年と記念すくめです。自分は広報担当三周年を迎え、気持ちも新たに四年目がスタート。ともに飛躍の年としたいですね。

幸

